

徳川幕府将軍歴代一覽

↑上段(黒数字)=将軍襲職時年齢、下段(青数字)=同将軍讓職時年齢 ※'+1'=和暦⇒西暦換算時、当該日は西暦では翌西暦年の日付になる。
 ↓下段=最終官位(秀忠以下は「大臣」を略す。慶喜を除き、没後に贈正一位 太政大臣) ↓※在職期間・生没年の年月表記=元年:1、正月:1

代	諱 いみな	実父 (との続柄)	生母 (その出自)	幼名 初名	継承 年齢	在職		在職期間		生年		没年		享年	諡号 しごう(よみ)	葬地	正側室		実子 (うち男子)
						年	か月	年	月	日	年	月	日				年	月	
1	家康	松平広忠 (安祥)	(正室)伝通院 お大の方 (以下「の方」は略)(水野氏)	竹千代 元信・元康 長松・長丸・長麿	62 64	2	2	慶長8・2・12 1603	～	慶長10・4・16 1605(大御所11年)	天文11・12・26 1542+1	～	元和2・4・17 1616	75	安国院 あんこく	久能山 日光山	2	19 (今川義元姪)	19 (13)
(神号:東照大権現) 継室:朝日姫(秀吉妹)																			
2	秀忠	徳川家康 (の3男)	(側室)宝台院 お愛(相)・西郷局(西郷氏<三河武)	・竹千代	27 45	18	3	慶長10・4・16 1605(讓職により)	～	元和9・7・27 1623(大御所8.5年)	天正7・4・7 1579	～	寛永9・1・24 1632	54	台徳院 たいとく	増上寺 お江・お江与(浅井)	2	9	9
3	家光	徳川秀忠 (の2男)	(正室)崇源院 お江・お江与(浅井長政娘)	竹千代	20 48	27	9+①	元和9・7・27 1623(讓職により)	～	慶安4・4・20 1651	慶長9・7・17 1604	～	慶安4・4・20 1651	48	大猷院 たいゆう	日光山 (輪王寺)	9	7	7
4	家綱	徳川家光 (の長男)	(側室)宝樹院 お楽(諸説・朝倉氏・増山氏・一色氏)	竹千代	11 40	28	9	慶安4・8・18 1651(前将軍死去)	～	延宝8・5・8 1680	寛永18・8・3 1641	～	延宝8・5・8 1680	40	厳有院 げんゆう	寛永寺 あさのみや	2	0	0
5	綱吉	徳川家光 (の4男)(館林)	(側室)桂昌院 お玉(諸説<町人>)	徳松	35 64	28	5+①	延宝8・8・23 1680(前将軍死去)	～	宝永6・1・10 1709	正保3・1・8 1646	～	宝永6・1・10 1709	64	常憲院 じょうけん	寛永寺	3	2	2
6	家宣	徳川綱重 (家光の3男/の長男)(甲府)	(側室)長昌院 お保良(田中氏<町人>)	虎松 綱豊	48 51	3	5	宝永6・5・1 1709(前将軍死去)	～	正徳2・10・14 1712	寛文2・4・25 1662	～	正徳2・10・14 1712	51	文昭院 ぶんしょう	増上寺	4	6	6
7	家継	徳川家宣 (の4男)	(側室)月光院 お喜世(代)・左京局(勝田氏<僧侶>)	鍋松	5 8	3	1+②	正徳3・4・2 1713(前将軍死去)	～	正徳6・4・30 1716(6月に改元)	宝永6・7・3 1709	～	正徳6・4・30 1716(6月に改元)	8	有章院 ゆうしょう	増上寺	0	0	0
婚約者:吉子(内親王)(八十宮)																			
8	吉宗	徳川光貞 (の4男)(紀州)	(側室)浄円院 お由利・紋子(諸説)	源六・新之助 頼方	33 62	29	1+①	享保1・8・13 1716(前将軍死去)	～	延享2・9・25 1745(大御所6年)	貞享1・10・21 1684(2月に改元)	～	寛延4・6・20 1751(10月に改元)	68	有徳院 ゆうとく	寛永寺 さなのみや	6	5	5
9	家重	徳川吉宗 (の長男)	(側室)深徳院 お須磨(大久保氏<紀伊家家臣>)	長福(丸)	35 50	14	6+①	延享2・11・2 1745(讓職により)	～	宝暦10・5・13 1760(大御所1年)	正徳1・12・21 1711+1(4月に改元)	～	宝暦11・6・12 1761	51	悼信院 じゆんしん	増上寺 なみのみや	2	2	2
10	家治	徳川家重 (の長男)	(側室)至心院 お幸(梅溪うめたに氏<公家>)	竹千代	24 50	26	0	宝暦10・9・2 1760(讓職により)	～	天明6・9・8 1786(発喪)	元文2・5・22 1737	～	天明6・8・25 1786↑実紀:9・8	50	浚明院 しゆんめい	寛永寺 いそのみや	2	4	4
11	家斉 なり	徳川治済 (の長男)(一橋)	(側室)慈徳院 お富(岩本氏<旗本>)	豊千代 はるさだ はるなり	15 65	50	0	天明7・4・15 1787(前将軍死去)	～	天保8・4・2 1837(大御所4年)	安永2・10・5 1773	～	天保12・閏1・30 1841↑異説:閏1・7	69	文恭院 ぶんきやう	寛永寺 ただこ	16	55	55
(島津⇒近衛)																			
12	家慶 よし	徳川家斉 (の2男)	(側室)香琳院 お楽(神田氏<旗本>)	敏次郎 (松平)	45 61	15	11	天保8・9・2 1837(讓職により)	～	嘉永6・7・22 1853(発喪)	寛政5・5・14 1793	～	嘉永6・6・22 1853	61	慎徳院 しんとく	増上寺 ささのみや	7	26	26
13	家定	徳川家慶 (の4男)	(側室)本寿院 お美津(跡部氏<旗本>)	政之助 いえさき いえさち	30 35	4	8	嘉永6・11・23 1853(前将軍死去)	～	安政5・8・8 1858(発喪)	文政7・4・8 1824	～	安政5・7・6 1858	35	温恭院 おんきやう	寛永寺 ただこ	3	2	0
任子(鷹司)・継室:秀子(一条)																			
14	家茂 もち	徳川家斉 (の長男)(紀州) (なりより/なりゆき・家斉の6男)	(側室)実成院 お操(美佐)(松平氏 <紀伊家家臣>)	菊千代 慶福 よしとみ	13 21	8	9	安政5・12・1 1858+1	～	慶応2・8・20 1866(発喪)	弘化3・閏5・24 1846	～	慶応2・7・20 1866	21	昭徳院 しょうとく	増上寺	0	0	0
(前将軍死去により) 家茂=斉隆(なりかつ、家斉の21男⇒清水家⇒紀州)の養子⇒将軍																			
15	慶喜 よしのぶ	徳川斉昭 (の7男)(水戸)	(正室)貞芳院 登美宮吉子(有栖川)	七郎麿 昭致 あきむね	30 31	1	0	慶応2・12・5 1866+1(前将軍死去)	～	慶応3・12・12 1867+1	天保8・9・29 1837	～	大正2・11・22 1913	77	神式のため 院号なし	谷中霊園 省子(一条)⇒美賀子	2	6	6
徳川宗家後継者:家達=田安慶頼の3男 亀之助、田安家を相続⇒慶応4・閏4・29 徳川宗家を相続																			

※在職「年・か月」=①は開始年の当該月以降に「閏月」あり、また②は①に加え最終年の当該月以前にも「閏月」あり。 ※諱・名等のよみ=諸説ある場合は列記した。 実子計 141
 ※在職期間の異説=家治:宝暦10・5・13～、家慶:天保8・4・2～嘉永6・6・22、家定:～安政5・7・6、家茂:安政5・10・25～慶応2・7・20、慶喜:～慶応3・12・9/慶応3・1・10～慶応4・1・3 (うち男子) 83
 ※主な参考文献=『江戸大名家血族事典』(新人物往来社刊)。他に、『徳川将軍15代』(山本博文著、小学館刊)、『徳川幕府事典』(竹内誠編、東京堂出版刊)、「Wikipedia」等。 側室計 76
 ※正室名・側室数・実子数=『将軍と大奥―江戸城の「事件と暮らし」』(山本博文著、小学館刊)より。一部将軍の側室数・実子数については異説多々あり。 (V1)2014/10/1, (V2)2016/1/1, by Y.Akita